

宇治町民泊協力会(千葉県チーム)



「ガンバルぞ～」



私が
ピーナッツマン!



私がピオーネガールよ♡



応援の指揮をとる森田俊君(宇治小6年)

元全日本チームのエースと現全日本の4番打者を擁した強豪チームを受け入れました。内藤孝協力会会長が岡山弁で歓迎すると、選手団からは「地域の皆さんの応援が普段以上の力を生みます」とあいさつ。選手を前にした声高らかな応援エールもありました。千葉県の名産「ピーナッツ」と地元名産「ピオーネ」をあしらった着ぐるみなどを製作し、応援席でも大活躍。力強いエールと太鼓の音に合わせ、力いっぱい応援が行われました。

松原町民泊協力会(岡山県チーム)

地元の藤井輝彦監督率いる岡山県チームを受け入れました。歓迎式では松原幼稚園児が選手の前で元気に「ももっち体操」を披露し、「頑張つて」と手づくりの「金メダル」を選手の前にかけてあげました。その後、選手たちは地元の神原八幡神社で必勝祈願。夜の懇親会では選手たちがソフトボールのフォームを披露しました。21日には松原小学校でソフトボール教室を開き、楽しい指導で児童たちは、ソフトボールが大好きになりました。チームは残念ながら準々決勝で敗れてしまいました。藤井監督は「たくさん応援をいただきました。頑張つてプレーでお返ししたいと思っていますが残念です。今は感謝の気持ちでいっぱい」と話していました。



まず基本が大切だよ

勝利を願って



高倉町民泊協力会(山形県チーム)



選手と楽しくハイ、ポーズ



選手団から贈られた旗には感謝の言葉が

背中に「山形」のロゴが入ったサクラソウ色のジャンパーで統一。歓迎会では、備中神楽の舞いや神楽面の贈呈があり、郷土料理の「ミョウガ焼」や「岡山のちらし寿司」も振る舞われました。送別会では、食事を担当した皆さんも会に加わり、エプロンにサインをしてもらうなど、会場はわが子を思う母親のような笑顔であふれていました。また選手団から贈られた「旗」には、選手による立派な「大黒様」が描かれており、セクターに展示されています。

落合町民泊協力会(長崎県チーム)



休息のひととき



酔った大蛇をからかう選手たち

歓迎会では、エースの森勇紀投手が「長崎県のために、そして落合町のために戦います」と、決意を話すと会場は大盛り上がり。獅子舞や仕組み踊り、備中神楽が披露され選手団は興味深く見入っていました。松山踊りでは、選手団も輪に加わり大いに盛り上がりました。応援では、落合小学校5、6年生も加わり、総勢350人が大集結。応援団長の日名茂さん(落合町福地)による気迫の込められた掛け声とともに、スタンドにはビッグウェーブが描かれ、熱のこもった応援が繰り広げられました。

有漢町民泊協力会(高知県チーム、富山県チーム)

有漢町では、高知県と富山県の2チームを民泊で受け入れました。有漢社会教育センター体育館で行われた歓迎会では、地元有志による獅子舞や銭太鼓、備中神楽が披露され、有漢西婦人会の皆さんから縁起物のコトコト馬のプレゼントがありました。高知県チームの応援では鳴子を鳴らしながら、よさこい節の「よっちょれ、よっちょれ」を大声で叫びながら声援を送りました。

選手たちとともに記念撮影



地頭民泊協力会(東京都チーム)



歓迎会ではさまざまな演芸が披露

領家民泊協力会と合同で歓迎式を行い、川上中学校生徒が選手たち全員の上に花輪をかけて歓迎。その後、川上幼稚園鼓笛隊の先導で地頭地区の中心部をパレードし、小旗を手にした沿道の地元の人々から「頑張って!」と熱い声援を受けていました。選手たちは、スポーツ芸術の会場となっている吉備川上ふれあい漫画美術館を訪れ、開催中の漫画グランプリ優秀作品展に見入っていました。応援では、この時のためにこしらえた必勝の鉢巻を締めて声援を送りました。